平成18年度科学研究費補助金実績報告書(研究実績報告書)

1 4 6 0 3 1. 機 関 番 号

2. 研究機関名 奈良先端科学技術大学院大学

3. 研究種目名 特定領域研究 4. 研究期間

平成 17年度 ~ 平成18 年度

5. 課 題 番 号

1 7 0 2 8 0 3 7

6. 研 究 課 題 名 モデル植物シロイヌナズナにおける小胞体ストレス感知の分子機構

7. 研究代表者

	研究者番号	研究代表者名	所 属 部 局 名	職名				
	2 0 2 5 2 8 3	小泉,望	バイオサイエンス研究科	助教授				
8.	8. 研究分担者(所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)							
	研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名				
		フリカ゛ナ						
		フリカ [*] ナ						
		フリカ [*] ナ						
		フリカ゛ナ						
		79.0)						
		フリカ゛ナ						

-ス化するため、600 字~800 字で記人。凶、グフフ等は記載しない

小胞体でのタンパク質の成熟過程に異常が起こるとシャペロン等の遺伝子が転写誘導される。 この現象は小胞体ストレス応答と呼ばれ、酵母や動物でそのユニークな分子機構が詳しく解析さ れている。一方で植物においては、分子機構、生理的意義ともに不明な点が多い。私たちはモデ ル植物であるシロイヌナズナから小胞体ストレス応答で誘導される転写因子 AtbZIP60 を単離し た。AtbZIP60 は膜貫通領域を有し、膜貫通領域を除いた部分を一過的に発現させると、BiP など の小胞体シャペロンのプロモーターを活性化した。またこの部分に GFP を連結したキメラタンパ ク質は核に局在した。

これらのことから AtbZIP60 タンパク質は不活性な膜結合型として存在し、小胞体ストレス依 存的にプロテオリシスを受け核へ移行し、BiP 等の小胞体シャペロン遺伝子の転写を誘導すると 仮定した。平成18年度はこの仮説を証明するために抗 AtbZIP60 抗体を作製しタンパク質の挙 動を調べた。その結果、全長の AtbZIP60 は小胞体に局在し、ツニカマイシンや DTT などの小胞 体ストレス誘導剤に処理により、切断型 AtbZIP60 が検出された。また、この切断型 AtbZIP60 は核に局在した。以上の結果から、上記の仮説が証明された。

続いてAtbZIP60タンパク質の切断機構について調べた。動物の小胞体ストレス応答の制御に関 わる転写因子ATF6は、ゴルジ体に存在するSIP、S2Pという2つのプロテアーゼにより切断され る。そこで、シロイヌナズナのゲノム情報から、S1P、S2Pのホモログと考えられる遺伝子の遺伝 子欠損株をそれぞれ入手し、AtbZIP60の小胞体ストレス依存的な切断を調べたところ、AtbZIP60 は野生型と同様に切断された。このことから、S1P、S2PはAtbZIP60の切断には関与していないこ とが強く示唆された。

※ 成果の公表を見合わせる必要がある場合は、その理由及び差し控え期間等を記入した調書(A4 判縦長横書 1 枚)を添付すること。

10. キーワード

(1) bZIP

(2) 小胞体ストレス

(3)シャペロン

(4) シロイヌナズナ

(5) ツニカマイシン

(6)BiP

(7) 膜タンパク質

(8)

(裏面に続く)

著	者	名	論	文	標	題
Tajima, H. and Koizumi, N			luction of BiP by sugar ir abidopsis thaliana.	ndependent of a cis-ele	ment for the unfolded	d protein response
杂	É	誌	名	巻・号	発 行 年	ページ
Biochem Biophys Res Commun.				346(3)	2 0 0 6	926-30
著	者	名	論	文	標	題
, E.J., Matsum zumi, N.	ura, Y., Soga,	K., Hoson, T. and Gly	cosyl hydrolases of cell wa	all are induced by sugar	starvation in Arabidops	sis.
杂	É	誌	名	巻・号	発 行 年	ページ
ant Cell F	Physiol.			印刷中	2 0 0 7	印刷中
著	者	名	論	文	標	題
—————————————————————————————————————	É	誌	名	巻・号	発 行 年	ページ
					1 1 1	
著	者	名	論	文	標	題
<u></u>	É	誌	名	巻・号	発 行 年	ページ
			·		1 1 1	
著	者	名	論	文	標	題
九 木	É	誌	名	巻・号	発 行 年	ページ
419	.	H-L	ı			
著	者	名	計	文	標	題
<u></u>	É	誌	名	巻・号	発 行 年	ページ
					1 1 1	
図書〕	計(0)					
著	者	名	<u></u>	版	社	
	:	書	名		発 行 年	総ページ数
					1 1 1	

12. 研究成果による工業所有権の出願・取得状況計(0)件

H (0) IT					
工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類、番号	出願年月日	取得年月日